

幼稚園で過ごす1日1日が子ども達の成長につながっている。

矢作幼稚園 荒川千秋（保育士・幼稚園教諭 平成21年度採用）

小田原市役所を志望したきっかけ

学生の頃から子どもが大好きで将来は幼稚園教諭になりたいと考えていました。生まれも育ちも小田原！豊かな自然に恵まれた小田原が大好き！ということで、この街のために自分ができることは何かと考え、小田原市の幼稚園教諭として子ども達の成長を日々、見守らせていただいています。

現在の仕事内容

小田原市の公立幼稚園は現在6園あり、2年目の私は、年長組の担任をやらせていただいています。

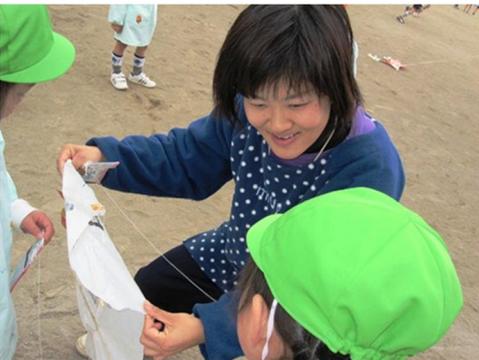
幼稚園での仕事は、人とのかわりが大切だと日々感じています。先生方との連携、子ども達との信頼関係、保護者の方々との信頼関係、地域の方々との協力など、様々な人との心の通わせ合いで日々の保育が成り立っています。明るく元気に前向きにをモットーに感謝の気持ちを忘れずに様々な人とのつながりを大切にしています。

教師という立場は、喜びもたくさんありますが、責任もあります。成長過程にある一人一人の子ども達を見つめながら、こんな育ちがあってほしいという願いをもって日々、保育にあたっています。そのため、週案、日案を作成したり、職員会議で教師同士の話し合いなども行っています。また、園便り、行事のお知らせなどを作成し、保護者との連携を心がけています。また、研修会へ出席し、専門的な学びを深め、教諭としての資質向上を図ることに努めています。



仕事のやりがい

幼稚園教諭としてのやりがいは、幼稚園で過ごす1日1日が子ども達の成長につながっていると感じた時です。苦手なことに少しずつ挑戦してできるようになった時のこぼれるような子ども達の笑顔や友達と力を合わせて頑張る姿などに、いつもたくさんのパワーをもらっています。子ども達との日々は、いつも新しい発見だらけ！教わることだらけです。本当に子どもって素晴らしい！と心の底から感じることもばっかりです。



「この仕事は子ども達に直接関係ないのでは？」と思うような仕事も実はすべて子ども達のためになることであり、大切なことだったんだと実感することがあります。ですから、幼稚園教諭としての仕事は、奥深く、たくさんのことがあります。一つ一つを丁寧に、責任をもって取り組むように心がけています。まだまだ、経験不足でうまくいかないことや反省することもたくさんありますが、先輩の先生方からのアドバイスをいただきながら、日々成長していけるように努力しています。

これからも職員の方々、保護者の皆様、地域の皆様など自分の周りの方々への感謝の気持ちを持ちながら、明るく元気に子ども達との日々を歩んでいきたいと思えます。

上司から一言

荒川さんは、子ども達と一緒に思い切り走ったり表現したりして、専門性を生かしながら伸び伸びと仕事をしています。就職して2年、日々小さな努力を積み重ね、保護者から厚く信頼されるようになりました。つらいこともありますが、本人の努力と職場のチームワークで乗り越えていくことができるやりがいのある職業であると感じていることが伝わってきます。